

# 小高商工会 ふれあい懇談会会議録 (第4回)

開催日 平成 30 年 8 月 6 日(月)  
16 時 00 分から

開催地 小高生涯学習センター(浮舟文化会館)

参加者 11名

---

## 【質疑】

### 【質問 1】

盆踊りや秋まつりなど、商工会が主体となって行っている行事がありますが、その補助が来年度から無くなると聞いたのですが、その後の支援はどうなるのですか。

歯科医院が新しく開業しました。そこから製作所までの通りですが、昔から都市計画に入っているとは聞いているのですが、現在に至っても全然進んでいない状況です。

現在、大型トラックが頻繁に通っています。理容店の交差点は、衝突事故寸前の事例がかなりあると聞いています。昔、スーパーがありました。製作所からそこまでは道を広くしてありますが、その後が進んでいない状況です。

震災もあり、現在そこに住んでいない方もいるので、今こそ道の拡張を検討いただきたいと思います。その道は、産業技術高校の生徒さんや中学生、小学生の通学路になりますので、親御さんからの心配の声を聴いています。

また、商業高校の跡地の使い道の情報はありますか。

### 【回答 1】

イベント補助については、県の予算で集客を高めるイベント事業補助金ということで、昨年度から3年間の平成31年度まで補助事業として市で実施していますが、平成32年度以降どうなるか県から示されていませんので、未定の状況になっています。

歯科医院から製作所までの土地区画整理については、現在中断している状態です。有効性を検証しながら整備について検討していきたいと思います。

小高商業の跡地の活用については、ほとんどの建物は取り壊す計画と伺っています。耐震の問題にかかるものは、いずれ壊したいというのが前提としてあります。校庭については、産業技術高校で使用したいと伺っています。

また、イベント事業補助が3年間ということですが、避難地域ということもあり、南相馬市全体が手厚い補助を受けています。少しでも人を呼び込むような活気のある事業なので、引き続き色んな形でお願いしていきたいと思います。一方で、これだけの財源がいつまでも続くわけではないので、集客についての要望を国・県にしていきたいと思います。

道路の件については、全体の都市計画道路とか詳細がわからないので、空き地の問題等も含めて調査事項とさせていただきます。

### 【質問2】

小高区復興拠点施設を利用してくださいということでしたが、どのくらいの規模ですか。私が提案したいのは、人が大勢集められるような、原町区の旭公園くらいの規模の公園を造っていただきたいということです。現在、小高区でお祭りを行う際には、通行止めするために許可を取って行っていますが、その許可もだんだん取りづらくなってきていると聞きました。

以前は、小高小学校のグラウンド一面を借りて行っていましたが、現在、小学校のグラウンドが人工芝になり、利用することが難しくなりました。そのようなものを補えるような大きな公園という意味合いで提案しました。もう少し補足すると、野外ステージがあると被災時の誘導やイベントのステージとしても活用できると思います。小高の市街地が難しければ、そこにこだわらないです。

### 【回答2】

旭公園は民間施設ですが、1haあります。復興拠点施設の面積は、全体で5,000㎡しかないのです。リクエストの広さには程遠いです。そのうえで、二つの視点でお答えしたいと思います。

そもそものスタートが街なかの一定規模の中でコンパクトに生活ができるような施設ということで、街なかに復興拠点施設を造りました。いろいろ造っていくと、お年寄りでも歩いて行けるくらいの距離でないと、結局移動手段が必要になってきますので、まちづくりをするのであれば、復興拠点施設にこだわりたいと思っています。

大きな公園というご提案がありました。最初に申し上げましたが、現在の復興事業の中では、平成32年度までに小高区の人口4,700人に達するとは思えない状況ですので、新たな対応策が必要だと思っています。そこを含めて総合計画に新たな小高の復興策をどれだけ折り込めるかだと思います。

### 【質問3】

草刈りポイント事業と、福島イノベーション・コースト構想の具体的な説明をお願いします。

他県からモニターを募集して、体験学習や郷土料理をふるまい、お土産を提供して、感想をいただいております。

震災前に、浦尻貝塚のイベントで火おこし体験に参加したときに、私自身とても面白かったので、そのような体験学習等の募集をしてみたいと思います。

### 【回答3】

草刈りポイント事業の内容については、地区の集会所や共有地をその地区の方々と協力して草刈りをしていただいたときに、実績に応じてポイントを差し上げるという事業です。そのポイントで、小高区内の商店で購入できる商品券と交換できます。景観美化・地域コミュニティの再生・区内商店の振興を目指して、今年から始まった事業です。

福島イノベーション・コースト構想については、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故によって失われた浜通り地方の産業を回復させるために、新たな産業基盤の構築を目指すということです。

具体的には、福島第一原子力発電所の廃炉、ロボット関連、エネルギー関連、農林水産の各分野におけるプロジェクト事業の具体化を進めるとともに、産業の集積や人材育成、交流人口の拡大という内容になっています。

南相馬市の代表的なものは、ロボットテストフィールドになります。小高産業技術高校は、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校になっています。こちらでは、廃炉やロボット分野で活躍出来る人材の育成に取り組んでいます。

他県のモニター募集の件については、いろんな意見を頂戴しながら、市の施策に反映できればと思いますので、ご意見としてお伺いしながら今後に向けて検討させていただきたいと思います。

### 【質問4】

帰還状況について、将来4,700人目標ということですが、少し難しいと思います。人口減少から言えば、私たちの若い家族は、避難していることです。

しかし、その子供たちが将来小高に戻ってくることを私たちは期待しています。その子供たちが戻って来れるように、5年後、10年後に多く戻って来れるような環境や働く場所等の対策、難しいと思いますが、小高区に対する優遇措置というのをお願いします。

### 【回答4】

住宅関連については、若者等世帯への定住奨励金がありまして、45歳未満のご夫婦の方、18歳未満のお子さんが居る方などが住宅を取得する場合に支援する制度です。今年度の実績は、件数は多くありませんが11件の申請があり、うち小高区に住宅を取得した方が1件の申請がありました。

また、若者が戻ってくるためには、仕事がないと駄目だと思います。現在、市内で企業が進出しやすいように工業用地を造っています。その中には、ロボットテストフィールドが一つの核になると思います。ロボット関係を中心として南相馬市に進出したいときに、呼び込む手段として、場所の提供やロボットテストフィールド、環境創造センターの研究施設が近くにあるということです。

現在、福島県が企業誘致の条件として全国でも進んでいます。経産省の補助事業がありますし、税の優遇措置、南相馬市独自の企業支援制度があります。しかし、こんなに支援制度があってもなかなか100人、200人規模の企業が簡単に来る状況ではないということです。産業界そのものが厳しいのだと思いますが、そこは一生懸命やっていきたいと思います。

もう一つは、小高の空き地や空き店舗を生かして、少人数で起業したい方、何かチャレンジしてみたい方々が小高区に来て、ここでチャレンジできるための支援や環境づくりをしたいと思っています。それが産業政策の一つの柱です。新しくチャレンジする取り組みと、全国一の支援制度を生かした企業誘致をしていきたいと思っています。

教育については、認定こども園の整備に着手いたしました。あとは皆さんと相談ですが、小学校・中学校の適正化についてです。子どもたちのために、どのような教育環境がいいのかということを地域で考えていただきます。そのたたき台となるものを今作っています。そのうえで各地域のいろいろな考えがあると思うので、皆様方に議論していただきたいと思っています。

また、市独自の教員を採用するなどしながら、学力向上あるいはクラブ活動の先生を採用して、子供たちの教育環境を充実させたいと思います。未就学児については、保育園・幼稚園無料化を継続いたします。家で育てたいという方には、在宅保育支援事業として、満3歳未満の子どもを家庭において保育する保護者に対し一人あたり月1万円の在宅保育支援金を交付しています。

やはり小中学生に対しては、教育環境を整えるということで、学校の先生を採用するとか、中学校の修学旅行で海外研修をさせたいと思っています。すぐには難しいですが、他に無いような教育環境をつくって親御さんがここに住むような検討材料にしていきたいと思っています。

#### 【質問5】

震災後、子どもの学力低下が重要視されていて、このままいくと差別されてしまうのではないかと心配していましたが、市長さんのこれまでのお話を聞いて少し安心しました。子どもを増やすと言っても、避難していった人はなかなか戻って来ないので、新しい人を呼び込むしかないと思います。

今度、うちの会社では、小高に住んで子育てする家族には、2040年まで月3万円の小高手当を出すと言ったら、1組小高に住んでくれました。その夫婦は郡山の方です。郡山の人口が2人減って、小高の人口が2人増えたということは、すごいことです。小高に住むと子育ての環境が良くて、子どもが優秀に育つということをやりたいです。

TVで見たことがありますが、若者住宅を提供している町があり、そこに住んでいる夫婦の合計特殊出生率は2.8%あるそうです。小高区は、小中高が一箇所に集まっています。このような町は県内でもほとんどないようなので、このような環境

を生かせば、その町のようになるのではないかと思います。

人口が3,200人と言っても、中身が大事です。子どもがたくさん居ないとどうしようもないので、そのようなことにお金を使っただきたいと思います。商業の跡地周辺をそのような方向で考えれば、小高の可能性が見えてくるのではないかと思います。

#### 【回答5】

小高手当、ありがとうございます。飯舘では公営の若者住宅はありました。南相馬市では、若者に限定したものは無いです。

#### 【質問6】

市営住宅は誰でも入居できるわけではないとはわかっていますが、空いているならそこを利用してもいいと思います。

#### 【回答6】

市営住宅には制限がありますが、若者向けの住宅や手当について、民間のアパート活用がいいのか、市営住宅の活用がいいのか考えます。

おっしゃる通りで、何かチャレンジしてみたい若者が他市から小高区に来て、チャレンジできるための支援や環境づくりをするうえで、市外の方だと家主の方も不安だと思うので、市が間に入って借りやすい環境をつくる必要があるのだと思います。

この間、学力テストの結果が出ました。小学6年生は全国平均です。中学生は、今回全て全国平均を下回りましたが、改善の余地はあると思います。

中学校になると、目的意識と自分でどのように工夫して勉強するかだと思います。小学校と違って、教えられるだけでは駄目なのだと思います。海外研修なり刺激を与えて、目標を持たせていくことが大事なのだと思います。

もちろん、ふるさと教育も大事です。南相馬市の良い所、悪い所、他にはない気候の問題や人との繋がり、野馬追文化の遺産のようなものを教えたいうえで、海外にも興味を持たせるようにしたいと思っています。

地元の魅力を知って市外に行った子どもが3人に1人は戻って来てくれればと思います。教育は時間がかかる問題だと思いますが、他にはない良い教育をしていきたいと思っています。

#### 【質問7】

震災があっても無かったとしても、人口減少の2025年問題などいろいろ騒がれ

ているように、いずれ日本も外国人労働者で溢れかえると思います。我々の老後も外国人に面倒見てもらわないといけないのではないかと囁かれています。

そのような時代になってきた時に、子や孫に負えないような借金、地方債を残してほしくないと思います。背負える程度ということになると、ひとつひとつ施策をやるにしても、財政というものを頭に置きながら是非進めていただきたいと思います。これから借金を払えなくなってくるのではないかと心配に思っています。

企業誘致の問題です。自分たちもグループ補助金を使いましたが、仕事はありますが人が足りなくて回せないというのが実態です。誘致企業には、相当な支援をして誘致されて、地域企業の従業員を引き抜かれたという声も聞いております。引き抜かれる企業も悪いのかもしれないですが、地域企業なりに努力しているので、地域企業にも何か支援策が必要ではないかと思えます。

海沿いは、太陽光発電で整備されつつありますが、現在は電力の売却収入で採算が取れる計画かも知れませんが、将来的に考えるといずれ解体、廃棄もしくは新しく設置しなくてはいけない時期がくると思うので、そのことも含めて採算がとれるとお考えかどうかお聞きしたいです。環境問題と再生エネルギー問題が代表されているために非常に不安です。

## 【回答7】

これからの社会で、どう折り合いを付けるかだと思います。人口減にも対応できる社会づくりと、人を呼べるような施策の兼ね合いだと思います。現状を見ると、今後、若い人が減っていくわけですから、これから借金をして市の復興をしていくのは厳しいと思っています。維持管理費の問題もあります。借金をしてまでつくっても上手くいかないの、借金をしないで整備できる道を探っていきたいと思っています。この件に関しては、ご意見として承らせていただきます。

地元企業について、グループ補助金や津波被災の補助金等、地元の事業者に対しても国からの手厚い支援策がありますので、活用して欲しいです。他から誘致するだけでなく、ロボットテストフィールドのあるイノベーションコースト構想についても参入を考えている地元企業もありますが技術力、人集め等でお手伝いできればと思っています。いずれにしても、現在の南相馬市は人材確保だと思います。

再生エネルギーの太陽光については、市としてチャレンジすると決めたので、やりたいと思います。最低は20年持つようです。イノベーションコースト構想の目玉として、太陽光パネルの再利用や廃棄の処理というのも入っています。原発の放射能は、コントロール不能ですが、太陽光パネルに含まれている重金属等の処理については、技術の問題だと思うので、そんなに悲観していません。現在は割高ですが、廃棄や再生利用でも必ず商売になってくると思っています。

脱原発を含め、太陽光発電や風力発電をしていきたいと思います。一方で、太陽光は自然エネルギーとしては良いですが、維持管理に人が要らないので雇用に結びつかないことです。逆に、風力発電は補修に何人もの人手が必要になります。イノベーションとは技術革新、コーストは沿岸部という意味で、国が浜通りで積極的に力を入れるという意味だと思うので、良い芽が出れば良いと思っています。

### 【質問8】

来年1月に復興拠点がオープンすると聞きましたが、実際どのような施設が入って、どのような運営をしていくのですか。

### 【回答8】

大きく6つの建物ができます。一番南側には主に物販、食堂が入ります。その北側にカフェが入ります。さらに北側に地元の農産物の直売所を造っていますが、まだやっていただける方が見つからない状況です。

道路を挟みまして、天然芝で出来た「小高はらっぱ」があり、その奥に屋内の人工芝で出来た多世代交流施設があります。その東側に、和室、健康増進のためのトレーニングエリア等を予定しています。その南側に子育て世代の施設、交流スペースを予定しています。

小高区役所の裏側に駐車場があります。店舗に入る業者については、公募して公平を期したうえで入っていただこうと思っています。

また、商業施設について、「スーパーの存在が大きいのはわかるが、南相馬市ではどのような考えを持っているのか」、まさにその通りです。商業と行政が一緒になると難しい面もありますので、皆さんが入れるような、補助制度や民間の方が進出するための支援制度は頑張っていきたいと思っています。市の介入はこれが最後だと思っていますが、どうしても行政が入らなければいけないとなったときは、考えます。

### 【質問9】

現在、住民登録は小高区にありますが、原町区に住宅を購入して二重の住所があります。市として、いつ頃を基準にどちらかの住所にするのか決めてくださいという通知等はしないのですか。

### 【回答9】

単身赴任でも、住所を赴任先に変えて下さいとは行政では言いませんので、住んで

いる方の判断だと思います。行政でどちらかにしてくださいというのは考えていません。ただ、問題が出てくるとしたら、行政区の問題です。二重生活は大変だと思いますが、地域によっては道路の草刈りや排水の水路の掃除をみんなですたりしますので、そこはどちらも入っていただこうと思います。住んでいるのであれば、その関わりも大事にして欲しいです。今後、行政区の在り方について、アンケートも実施します。

以上